

JSAF 外洋東海第 101 回理事会・第 54 回代議員会議事録

1.開催日時 2023 年 5 月 19 日（金）午後 7 時 00 分～8 時 30 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、岩瀬喜貞、川合紀行、三浦信郎、中村 孝、水越英次
奥田義明、結城光広

（委任状出席）

大橋哲二、水谷節生、林泰 成

定足数 10 出席数 12（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、三浦桂子、安井 理

（委任状出席）

岡 吉樹、大島和晃

定足数 5 出席数 5（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。

議事録署名人として、岩瀬喜貞、坂口龍哉の両氏を指名後議事に入る。

1) 2022 年度事業実績報告及び収支決算報告について

会長命により、坂谷専務理事より資料 1、2、3 に基づき報告があった。

<説明概要>

本年は計画 7 レース中、8 月のラグーナ・デニスコナーカップは中止となったが、6 レースを開催することが出来た。

各委員会の活動概要は記載のとおり。計測委員会の証書発行の内 TRS 取得はレースが開催されたこともあって、昨年 12 艇から 52 艇に伸びた。

2022 年度の収支決算については、総収入 9,052,452 円に対し、総支出は 7,321,374 円で、次年度への繰越金は 1,731,078 円となった。

パールレース特別会計については、本年度第 63 回大会において 291,432 円の黒字となったため、次年度へは 1,677,277 円の繰り越しとなっている。

また、外洋東海友の会の資産として、本年末で 26,128,073 円となっている。

以上説明後、会長去る 5 月 10 日に受けた監査結果について、幹事の意見を求めたところ富川監事より資料 5 に示すとおり報告がなされた。

終了後、会長出席理事に意見を求めたが、特に無かったので、諮ったところ異議なく承認された。

理事会承認を受けて、会長から代議員会に対し、2022 年度の事業実績と収支決算内容について承認の如何を諮ったところ、異議なく承認された。これをもってJSAF 外洋東海2022 年度の事業及び決算は全て確定した。

2) 総会の開催方法について

会長よりこの決定事項について、総会を開催して報告する必要がある。また、友の会資産については総会承認が必要だが、これまでコロナ禍で葉書とホームページによって会員には報告と承認を得てきた経緯がある。

ただ、現状スポーツ会館が無くなったこともあり、総会を開催するに適切な場所が無いがどのような方法が適切か出席者の意見を聞き協議したところ、葉書によるものが全員に伝わる一番の方法だということに意見の一致を見た。

よって、ホームページに事業や決算に係る資料を掲載した上で、会員の皆さんに確認してもらう方法を取ることに決した。

3) JSAF 関係報告

岩瀬JSAF 水域理事より、以下のとおり報告があった。

会員外にもセールナンバーを与える制度が始まっており、3,000 円で発行が可能です。

2 年が経過しこれまでに30 艇程に発行されたものと思われます。

小笠原レースが宿泊の関係で、本年は東京湾スタート、小笠原フィニッシュという逆コースでの開催となった。小笠原ではレース終了後地元学生の体験乗船が計画されていましたが、船の乗客枠の考え方の食い違いで、保安部からストップがかかり、停泊したままでの体験乗船となってしまった。過去に海上保安庁とJSAF が交わしたヨットに特化した乗船に関しての覚書があるので、交渉するようにしたい。

4) 外洋東海各委員会報告

三浦レース委員長から、レースオフィサー制度について、愛知県連から外洋東海に移ってきた石倉氏と誰でもレースオフィサーになれるというコンセプトで、今後この地区で活動していこうと相談しながらやっているところですよという発言があった。

川合安全委員長から以下の発言があった。

5 月のゴールデンウィークに関東のレースで落水事故が3 件発生した。3 件ともライフラインに関するものです。安全基準ではライフラインのラニード交換の基準はあるんですが、今回はライフライン本体が切れるというものなので、外洋東海としても今後ライフラインのチェックやその方法について指導していきたい。

5) エリカカップについて

岩瀬実行委員長から明日から始まるエリカカップについて、最終的な日程や行事の確認があった。その後エリカカップに関する課題や問題点、今後のレースの考え方等熱心に協議した。

6) パールレースの進捗状況について

坂谷実行委員長から現状の進捗状況や今回のパールレースについては、前夜祭の復活等
コロナ前とほぼ同様のようなレースとしたい旨説明があり、出席者から異論はなかった。

以上で協議終了したので、午後 9 時 30 分会長閉会を宣し、散会した。

作成者 坂谷定生

議事録署名人 岩瀬喜貞
 坂口龍哉